

G空間EXPO2025の開催結果

- ・ 14回目の開催となる今年度は、サブテーマを「**G空間が織りなす豊かな社会へ**」と題し、革新的なG空間技術を新産業・新サービスの創出に繋げるとともに、産業ニーズをG空間技術の開発にフィードバックする「持続的発展スパイラル」の構築を目指し、産学官の多様な主体が参画。
- ・ 今年度は、**会場を東京ビッグサイトに移し、国際宇宙産業展等と同時開催**することにより、**新規出展が20者、来場者が昨年度比15倍の約26,300名**となる等、例年以上に盛会となった。

◆ 開催概要

※同時開催：国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展

〔会場開催〕 令和7(2025)年1月29日(水)～31日(金)

東京ビッグサイト (10時～17時)

南4ホール：展示会場・セミナー会場、南2ホール：メインステージ

〔オンライン開催〕 令和7年1月22日(水)～2月7日(金)

〔入場者数〕 **26,338名** (同時開催展含む)

1日目：7,299名／2日目：9,391名／3日目：9,648名

◆ 主なイベント内容

- ・ 内閣官房「イチBizアワード」表彰／国土交通省「地理空間情報データチャレンジ」表彰
- ・ 講演：「建築・都市のDX」の現在地と将来像
- ・ 講演：NHK「ブラタモリ」プロデューサー 吉田 光志 氏
「旅が10倍楽しくなる！“地図ブラ”の魅力～「ブラタモリ」番組づくりの現場から」

◆ 主催：G空間EXPO運営協議会



①関係省庁・多様な分野との連携強化

- ・シンボルプロジェクトの担当省庁として、これまでも展示を行っていた内閣府宇宙事務局（準天頂衛星みちびき）、国土交通省（PLATEAU、不動産ID）、国土地理院（国家座標）のほか、**今年度から新たに農林水産省（スマート農業）、経済産業省（空間ID）のブースを出展**

※このほか国土交通省（歩行空間の移動支援サービス）や国土技術政策総合研究所、多様な分野の民間企業が新規出展

- ・EXPO開催日が新たな準天頂衛星の打上予定日の直前となることを踏まえ、**宇宙事務局による関連セミナーを実施**



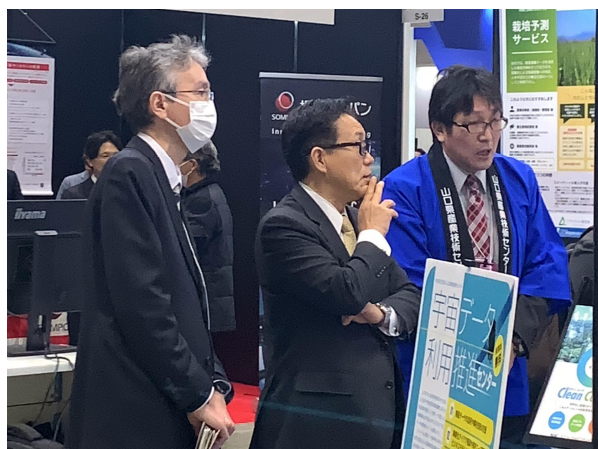
農水省・経産省の
ブースを視察される
新藤義孝議員

②先進的なG空間技術の発掘・展開

- ・令和6年3月に実施したG空間産学官意見交換会への招聘をきっかけとして、**宇宙線（ミュオン）を用いた新たな測位技術**であるμPS（ミューピーエス）の第一人者である東京大学・田中宏幸教授が企画し、被災した建物内を探索する**救助ロボットの実演**や国際的な取り組みの講演等を実施



新藤義孝議員ご挨拶の様子
(イチBizアワード表彰式)



江島潔議員ご視察の様子



G空間EXPO講演の様子